

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での
採択に向けた取り組みを求める意見書

核も戦争もない平和な世界を実現するため、札幌市においては、1992年3月に「札幌市平和都市宣言」を行い、核兵器廃絶を訴えるとともに、核実験に対する抗議を行ってきた。また、世界の3,562都市が加盟する平和市長会議の一員として、2020年までに核兵器を廃絶するための道筋を示す「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が、本年5月に開催されるNPT再検討会議で採択されることを目指している。

昨年4月に、オバマ米国大統領が「核兵器のない世界」を目指す演説を行って以降、米国とロシアとの第一次戦略兵器削減条約（START I）後継条約の交渉開始、核不拡散・核軍縮に関する国連安全保障理事会首脳級会合における全会一致での決議の採択、この会合での鳩山首相の「核兵器廃絶の先頭に立つ」との決意表明や、我が国が米国などと共同提案した核軍縮決議案の国連総会での採択など、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速している。

こうした歴史的な流れをさらに確実なものとし、核兵器廃絶を早期に実現するためには、明確な期限を定めて核保有国をはじめ各国政府が核兵器廃絶に取り組む必要がある。

よって、国会及び政府においては、平和市長会議が提案する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、NPT再検討会議において、この議定書を議題として提案するとともに、その採択に向け、核保有国をはじめとする各国政府に働きかけるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成22年（2010年）3月30日

札幌市議会

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣

（提出者）全議員